



NEWS

ニュース



水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月13日、青森市：6月20日、日本水道協会【東京】：6月27日、日本水道協会【大阪会館】：7月4日、長野市：7月8日、高松市：7月15日、佐賀市：7月25日）

水道の維持管理を万全に期することを目的に、全国の水道技術者の方々383名の参加を得て、「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、「水道施設設計指針2024～改訂の背景・ポイント～」、国土交通省防災課による「水道整備・管理行政の移管に係る水道施設の災害復旧事業」について、全国7ブロックで研修会を実施した。

第207回工務常設調査委員会（7月1日）

冒頭、本荘谷工務部長から開会挨拶があった。

はじめに、正副委員長の互選を行い、委員長には東京都水道局の藤川給水部長が、副委員長には横浜市水道局の江夏担当理事、大阪市水道局の田中理事が選任された。



その後、藤川委員長の進行の下、「JWWA 規格の改正について」、「JWWA 規格の検討開始について」、「地震等緊急時対応の手引き 応急給水等の様式のデジタル化に向けた検討ワーキンググループの設置について」審議を行い、了承された。

この他、「水道維持管理指針改訂特別調査委員会の設置について」、「水道メーター検定有効期間延長に向けた取組状況について」、「配水管工技能講習会における大口径管会場新設の進捗状況について」、「広域化及び公民連携情報プラットフォームのご案内について」、「水道の基盤強化ミーティングについて」、「水道料金算定要領の改定について」、「令和7年度全国会議・2025広島水道展における体験型水道イベント（水道PRブース）の実施について」、「令和7年度情報発信スキルアップセミナーの開催について」、「災害対策基本法等の一部改正に伴う水道法改正について」事務局より報告を行った。

水道事業事務研修会（経営初級コース）（7月2日～4日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々87名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

水道事業事務研修会（経営中級コース：7月8日～11日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年以上）の方々49名の参加を得て、「水道経営」、「水道料金」、「水道料金・同演習（水道料金の算定）」、「経営分析・同演習」、「水道事業における財務会計」、「水道事業における広報活動－水道料金改定に向けた広報戦略－」について研修会を実施した。

また、研修初日に行われたグループ別ディスカッションでは、水道事業における経営的課題について活発な情報交換が行われた。

第793回抄録委員会（7月9日）

テーマ別抄録及びオムニバス記事作成について審議を行った。



未納料金対策実務研修会（大阪会場第1回：7月10日～11日）

水道料金徴収業務に携わるの方々48名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションでは、「未納発生を予防する対策」等について活発な情報交換が行われた。

第202回水道統計編纂専門委員会（7月11日）

水道協会雑誌8月号へ掲載する「水道統計経年分析（令和5年度）」の原稿について、各委員より提出された修正内容の審議を行い、了承された。



第42回広報専門委員会（7月14日）

はじめに、審議事項①「正副委員長
の互選について」を事務局より上程し、
委員長には福岡市の小田委員、副委員
長には横浜市の野田委員を選任した。

次に、審議事項②「人材確保に向け
た水道界の魅力向上に繋がる広報手法
の検討について」を事務局より上程し、



これまでの検討状況を事務局から説明した。その後、各委員からの意見発表を経て、事務局が今後のスケジュール案について説明し、了承された。なお、今年度より学識及び産業界から委員を迎え、産官学一体で審議することとしている。その一環として、中央大学の山村教授より「水道界における人材確保」をテーマに講演をいただいた。

続いて、審議事項③「水道料金改定に向けた広報手法について」を事務局より上程し、「水道料金改定業務の手引き」が今年度改定されることに伴い、広報事例の収集・調査に関する事務常設調査委員会からの付託について説明した。その後、各委員からの意見発表を経て、事務局が今後のスケジュール案について説明し、了承された。

水道技術管理者研修会（第1回：7月15日～16日）

水道技術管理者または管理者を補佐する方々50名の参加を得て、「水道事業を取り巻く環境の変化」、「水道整備・管理行政の移管に係る水道施設の災害復旧事業（負担法移行後）」、「水道水質管理に関する最近の動向」、「水道事業における危機管理対策－震災予防対策～震災応急対策－」について研修を実施した。

また、千葉大学大学院工学研究院 丸山喜久教授による「水道施設耐震化の重要性」について講義を行った。

配管設計講習会（中部会場第1回：7月16日～18日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々50名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について講習会を実施した。

第270回衛生常設調査委員会（7月17日）

はじめに、高橋水質課長より開会の挨拶を行った。

その後、副委員長の選出を行い、水野委員（名古屋市上下水道局）が選出された。

続いて、環境省水・大気環境局環境管理課水道水質・衛生管理室の東室長から、最近の水道水質行政について情報提供があった。

議事に入り、木村委員長（東京都水道局）進行の下、「JWWA 規格の検討開始について」、「JWWA K113（水道用粉末活性炭）の改正」、「JWWA K149（水道用コンクリート水槽内面FRPライニング材料）の改正」、「JWWA G112（水道用ダクトイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装）組成の衛生性評価」及び「JWWA K135（水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法）及び JWWA K157（水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法）組成の衛生性評価」に関連する審議を行った。

また、「水質試験方法等調査専門委員会（全体会、各部会）」及び「水道 GLP の状況」について事務局より報告を行った。



第94回中小規模水道問題協議会（7月23日）

はじめに、水道の基盤強化に向けたワークショップとして、水道事業における公費負担のあり方について事務局から講演の後、メンバー都市と事務局によるフリーディスカッションが実施された。

次に、江原東大阪市上下水道事業管理者より、取組事例として「令和6年度における水道料金改定のプロセス及び水道事業への国費充当の効果」について発表が行われた。

次に、座長、副座長の選任を行い、座長には石賀倉吉市上下水道局長が、副座長には川島安中市上下水道部上水道事務課長がそれぞれ就任した。

続いて、審議事項「情報交換事項回答集の水道協会雑誌への掲載について」、事務局より説明を行い審議の上、了承された。

その後、メンバー都市から提案された情報交換事項「①企業進出に係る水道施設整備費用」、「②宅内漏水（分岐部から量水器まで）の修理費用の負担」、「③検針員が敷地に立ち入りできない場合のメーター検針」、「④運搬送水の実績」、「⑤1次側給水管修繕に係る事業者負担の範囲」、「⑥上下水道料金未納の徴収」、「⑦水道料金等のクレジットカード払い」、「⑧水道事業における耐震化の状況」、「⑨スマートメーターの導入」、「⑩漏水調査」、「⑪貯水池（ダム）の原水の著しい変色」について、それぞれ情報交換を行った。



最後に、「水道の基盤強化ミーティング」、「水道料金算定要領の改定」、「災害対策基本法等の一部改正に伴う水道法の改正」、「体験型水道イベントの実施」、「情報発信スキルアップセミナー」について、事務局から報告を行った。

第207回水道 GLP 認定委員会（7月23日）

水道 GLP 認定について審議した結果、香川県広域水道企業団（JWWA-GLP044）、茨城県企業局（JWWA-GLP045）及び株式会社静環検査センター（JWWA-GLP131）の認定更新を決定した。

また、久留米市企業局（JWWA-GLP021）、北千葉広域水道企業団（JWWA-GLP071）、長岡市水道局（JWWA-GLP119）及び豊橋市上下水道局（JWWA-GLP141）の認定維持を決定した。



第1037回会誌編集委員会（7月24日）

本誌8月号の編集方針、投稿原稿の査読、令和7年度有効賞の選考等について審議を行った。

水道事業管理職事務研修会（東京会場：7月24日～25日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐する方々42名の参加を得て、「水道行政の動向」、「水道事業経営と財政のポイント」、「水道料金の徴収整理事務」、「水道事業における広報の重要性」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」について研修会を実施した。

また、特別講演として、総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー（元岩手中部水道企業団局長）菊池明敏氏による「水道界に山積する課題に対する管理職としての心構え、管理職のあり方」を行った。

第69回国際委員会（7月28日）

はじめに審議事項①「正・副委員長
の互選について」を上程し、委員長に
札幌市水道局の中村委員、副委員長に
東京都立大学の滝沢委員が選任された。

続いて報告事項として「令和6年度
国際活動」、「令和6年度国際研修」、「令
和7年度国際活動」について、それぞ
れ事務局から報告を行った。



最後に、審議事項②「令和8年度国際研修計画について」を上程し、原案のとおり了承された。

第188回水道技術管理者協議会（7月29日）

はじめに、審議事項として「議長、副議長の互選及び運営委員の選出について」を上程し、議長は福山市上下水道局柚木工務部長、副議長は宮崎市山元水道部長が選出された。運営委員については、支部ごとの協議により、北海道地方は釧路市、東北地方は秋田市、関東地方は久喜市、中部地方は伊賀市、関西地方は尼崎市、中国四国地方は香川県広域水道企業団、九州地方は鹿児島市が選出された。



続いて、報告事項として「①水道維持管理指針改訂特別調査委員会の設置について」、「②水道メーター検定有効期間延長に向けた取組状況について」、「③JWWA規格の改正について」、「④水質の最新情報について」、「⑤広域化及び公民連携情報プラットフォームのご案内について」、「⑥水道の基盤強化ミーティングについて」、「⑦水道事業アドバイザー制度の拡充について」、「⑧水道料金算定要領の改定について」、「⑨令和7年度全国会議・2025広島水道展における体験型水道イベント（水道PRブース）の実施について」、「⑩令和7年度情報発信スキルアップセミナーの開催について」、「⑪災害対策基本法等の一部改正に伴う水道法改正について」、「⑫その他」について、事務局より報告を行った。